



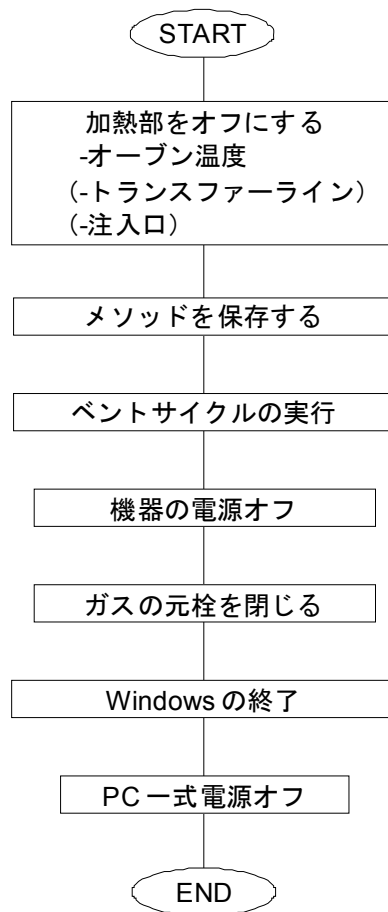
## 第12章 システムの停止方法

12 章-1 加熱部をオフにする	12-4
12 章-2 メソッドをクールダウンメソッドとして保存する	12-8
12 章-3 ベントサイクルを実行する	12-9
12 章-4 機器の停止	12-11
12 章-5 PCのシャットダウンと周辺機器の電源をオフにする	12-12



システムの停止方法は Agilent ラボモニターソフトウェアのマニュアル、ケミステーションに付属している「入門」ガイド、またはソフトウェアの User Information CD-ROM で確認することができます。

<システムの停止方法>



## 第 12 章 システムの停止方法

システムを停止する場合、加熱部をオフにし、ベントサイクルを実行して電源をオフにする準備をします。

### 12章-1 加熱部をオフにする

#### (1) オープン温度



① (GC パラメータアイコン) をクリックします。

② オープンの初期温度の [値] 欄に冷却に適切な値 (40°C や 50°C など) を入力します。




通常、オープンは低い温度に設定し、オンの状態にしておきますが、必要に応じてオフに設定します。

(2) GC 注入口の温度

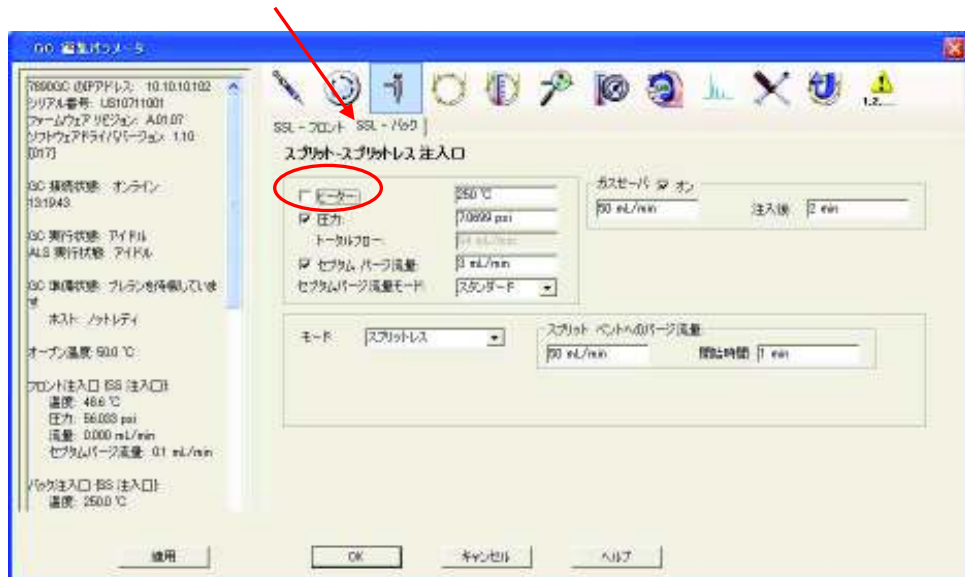
**注意**

ソフトウェア Rev.E.02.xx 以上をご使用の場合、ベントサイクルを実施すると注入口温度が自動的にオフになるため、この手順の実施は必須ではありません。（ただし、次回真空排気時に読み込まれるメソッドについて留意が必要です。）



①  をクリックします。

② 使用している注入口のタブをクリックし、ヒーターのチェックボックスをオフにします。



注入口温度は必要に応じてオフにします。


## 第 12 章 システムの停止方法

### (3) トランスファーライン温度

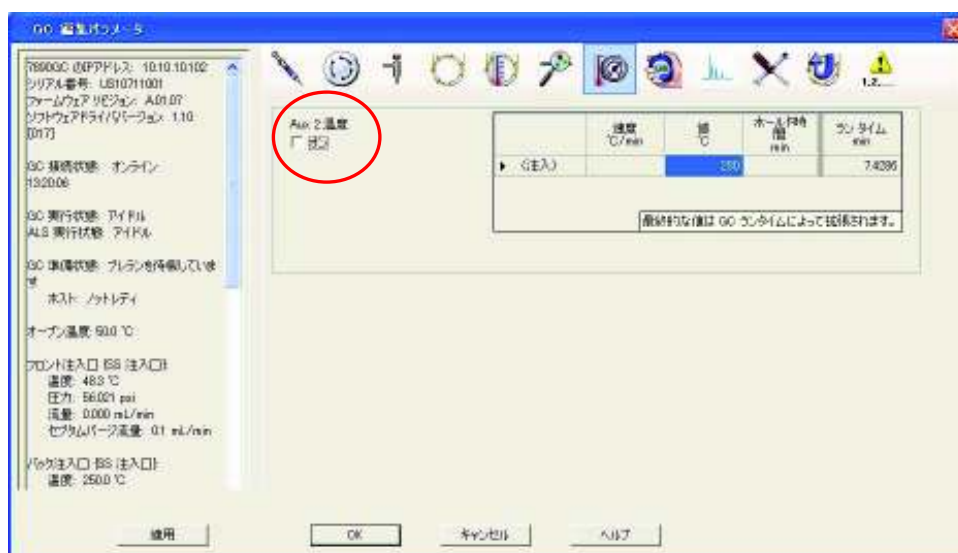
#### 注意

ソフトウェア Rev.E.02.xx 以上をご使用の場合、ベントサイクルを実施するとトランスファーライン温度が自動的にオフになるため、この手順の実施は必須ではありません。（ただし、次回真空排気時に読み込まれるメソッドについて留意が必要です。）



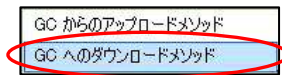
①  をクリックします。

② Aux2 温度 [オン] のチェックボックスをオフにします。



(4) メソッドを GC にダウンロードします。

- ① 画面上で右クリックし、[GC へのダウンロードメソッド] を選択します。



- ② ダウンロードの完了メッセージが表示されることを確認します。[OK] をクリックします。



### 注意

上記メッセージが表示されない場合、設定が GC へ転送されていません。使用している GC ソフトコンフィグレーション（カラムの種類等）を確認・変更後、再度設定を実施してメソッドをダウンロードする必要があります。

- (5) [OK] をクリックしてパラメータ編集画面を閉じます。

## 第 12 章 システムの停止方法

### 12章-2 メソッドをクールダウンメソッドとして保存する



- (1) (メソッド保存アイコン) をクリックします。
- (2) メソッドファイルに [cooldown] と入力して  をクリックします。(メソッド名は任意です。)



#### <参考>

コンフィグレーションの相違(カラムの種類が異なる等)によるメソッド変換や設定値のダウンロード失敗を防止するため、毎回cooldownメソッドを上書き保存することを推奨します。



- (3) (メソッド読み込みアイコン) をクリックし、[cooldown.m] (またはクールダウン用の任意のメソッド) を選択して  をクリックします。

#### 注意

MSD ケミステーションを起動すると、前回のセッションで最後に読み込まれたメソッドが GC および MSD に転送されます。加熱部をオフにしたメソッドを読み込んでおくことにより、機器の真空度やカラム内のキャリアガス置換が十分に準備できていない状態で、オープン、トランスファーライン、注入口が加熱されてしまう恐れを回避できます。システムを停止する場合には、毎回クールダウン用メソッドを読み込み後ケミステーションソフトウェアを終了することを推奨します。



12章-3 ベントサイクルを実行する

- (1) [表示] メニューから [チューニングと真空制御] をクリックします。



- (2) [真空制御] メニューから [ベント] をクリックします。



**注意**

ソフトウェア Rev.E.01.xx を使用している場合、左記メッセージが表示されます。トランスファーライン温度をオフにしている場合は、GC のキーボードを使用してトランスファーラインの温度をオフにします。

(例 :  >  > )



## 第 12 章 システムの停止方法

- (3) ベントサイクルのステータスが表示されます。通常、ベントサイクルが終了するまで待ちます。ベントサイクルを実行すると高真空ポンプ、およびイオン源と四重極の温度は自動的にオフになります。

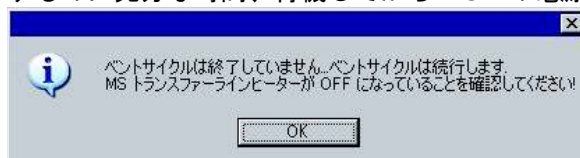
ソフトウェア Rev.E.02.xx 以上の場合、注入口とトランスファーラインの温度（通常 Aux #2）も自動的にオフになります。



### <参考>

ベントサイクルの完了を待たずにケミステーションを終了したい場合には「閉じる(C)」をクリックします。

以下のメッセージが表示されるので「OK」をクリックします。この場合でもベントサイクルは続行されます。ベントサイクルが完了するのに十分な時間、待機してから MSD の電源をオフにします。



- (4) ソフトウェア Rev.E.02.xx を使用している場合、ベントサイクルが完了すると自動的にケミステーションソフトウェアが終了します。

### 注意

ソフトウェア Rev.E.01.xx を使用している場合、ベントサイクルが完了すると左記メッセージが表示されます。「OK」をクリックし、[ファイル]メニューの[終了]をクリックしてケミステーションを終了します。



12章-4 機器の停止

- (1) 必要に応じて MSD、GC の電源をオフにします。また、キャリアガスやその他のサポートガスの元栓を閉じます。



**注意**

カラムにダメージを与えないよう、GC の電源をオフにする前にオープン、トランスファーライン、および注入口が充分冷却されていることを確認します。

## 第 12 章 システムの停止方法

- (2) 必要に応じてフロントウィンドウのカバーを外し、ベントバルブを開けて MSD を大気開放します。



### 注意

MSD の大気開放を実施する際には、必ずベントサイクルを実行し MSD の電源をオフにします。また、大気開放は必要時のみ実施します。

### 12章-5 PC のシャットダウンと周辺機器の電源をオフにする

- (1) タスクバーの [スタート] ボタンから、 [シャットダウン] をクリックして Windows を終了します。
- (2) PC、モニター、プリンタ等の電源をオフにします。